

水道100周年歴史写真・資料展連携展示

なごやの水道

平成26年7月19日（土）～平成26年9月18日（木）

なごやの水道は、1914（大正3）年9月1日に給水を開始し、今年100周年を迎えます。「100年の歴史を礎に、つないでいこう信頼の絆」をコンセプトに様々な記念事業が催されており、9月には水の歴史資料館も開館予定です。

上下水道局の巡回展示「名古屋の水道のあゆみ」と連携し、期間中、当館所蔵の水道関係資料を紹介します。

展示解説

●おふけごようすいこうてい御深井御用水江程全図 文久元年（1861）明治42年（1909）写

●はばした旧巾下水道図 明治44年（1911）

御用水及び巾下水道は尾張藩二代藩主徳川光友の時代に敷設された水道である。城の西側（巾下）の地質が悪く、この地域に飲料水を供給するのが目的であった。また、御用水を合戦の際の地道として利用するためだったと伝えられている。御用水は東春日井郡川村（現守山区）から勝川（庄内川）の水を引き、御深井御堀に入れたもので、巾下水道の導水路にあたる。

●名古屋御城水道絵図 明治42年（1909）年写

二之丸御殿西側表・中奥部の水道を青の線で示す希少な図。旧名古屋市史編纂のための模本である。

●名古屋新聞 大正3年9月2日

●名古屋市広報 大正3年9月1日

大正3年9月1日の給水開始を伝える名古屋新聞の記事及び広報である。当館は新聞広報共に貴重な原紙を所蔵している（名古屋新聞は原紙保護のため閲覧は複製のみ）。

給水開始当初の給水戸数は全体のわずか1.9%（大正3年度末）と伸び悩んだが、その後、水道の利便性や重要性が理解されるとともに普及が進んだ。

●さようなら配水塔の図書館 中村図書館25年のあゆみ 名古屋市中村図書館／編集
名古屋市中村図書館 1991

●まち歩きカード1 アクテノン周辺 わたしたちのまち中村実行委員会 2013

●水とともに 2010年1月号 水資源機構

昭和19年まで配水塔として使用されていた旧稲葉地配水塔は、改修工事を経て、昭和40年に中村図書館へと生まれ変わった。ユニークな建物はマスコミにたびたび取り上げられ、平成元年には「都市景観重要建築物」に指定された。

平成3年に中村図書館が現在の場所に移転した後、平成7年からは演劇練習館アクテノンとして再誕生、市民に愛され続けている。

●すいどうクォーターNo.37, 38, 70 名古屋市水道局

●水と四季Vol.23 名古屋市上下水道局

上下水道局では昭和50年から平成12年までは季刊「すいどうクォーター」、平成13年からは季刊「水と四季」を発行し、市民への広報に努めている。

おいしい水のPR活動は他市より早く、昭和59年から水道水の缶詰「なごやの水」を製造。平成18年からは災害用備蓄飲料水「名水」として販売している。

●名古屋市上水道配水幹線図 平成25年3月 名古屋市上下水道局 2013

平成24年度末現在、本市の水道普及率は100パーセント、水道管の総延長は約8,300キロメートルとなっている。本図を見ると水道管が市全体に、網の目のように張り巡らされていることがわかる。

また、名古屋の水道は名古屋市だけでなく、清須市（春日地区除く）、北名古屋市久地野地区、大治町、あま市甚目寺地区にも給水している。

●名古屋市水道誌 名古屋市／編 名古屋市 1919

●名古屋市水道五十年史 名古屋市水道局／編 名古屋市水道局 1964

●名古屋市水道六十年史 名古屋市水道局／編 名古屋市 1974

●名古屋市水道70年史 名古屋市水道局／編 名古屋市水道局 1984

●名古屋市水道80年史 名古屋市水道局／編集 名古屋市水道局 1994

●名古屋市水道90年史 名古屋市上下水道局／編集 名古屋市上下水道局 2004

「名古屋市水道誌」は明治以降の水道事業に関する記録を後世に伝えるべく、大正8年に刊行された当市最初の水道誌である。給水開始から半世紀後の昭和39年に50年史が刊行されて以後、10年の節目ごとに小史が刊行されており、本年度中に百年史が刊行予定である。

その他参考・引用文献

巨大城郭名古屋城 名古屋城特別展 名古屋城総合事務所／編集 名古屋城特別展開催委員会 2013

城下町と水道 赤穂市立歴史博物館／編集 赤穂市立歴史博物館 1997

東海財界 2013年4月号 中部財界フォーラム社

名古屋市上下水道局100周年サイト <http://www.water.city.nagoya.jp/100shunen/>

名古屋市鶴舞中央図書館 2014年7月発行 この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。